

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。
 最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。
 (こちらに掲載している内容は、2025年4月現在の内容です)

ベニカXファインスプレー

有効成分：クロチアニジン…0.0080%

フェンプロパトリン…0.010%

メパニピリム…0.020%

農林水産省登録 第22506号

※印は本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用病害虫名	希釀倍数	使 用 時 期	使 用 方 法	総使用回数※			
					本剤	クロチアニジン	フェンプロパトリン	メパニピリム
ばら	アブラムシ類、アザミウマ類、クロケツツブチョッキリ、コガネムシ類成虫、コナジラミ類、チュウレンジハバチ、ハダニ類、ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ、ゴマダラカミキリ成虫	原液	発生初期	散布	4回以内	4回以内	6回以内	5回以内
	うどんこ病、黒星病、灰色かび病		発病初期					
花き類・観葉植物（ばら、花月を除く）	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハダニ類、ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ	原液	発生初期	散布	4回以内	4回以内	6回以内	5回以内
	うどんこ病、灰色かび病		発病初期					
花月	アブラムシ類、アザミウマ類、コナジラミ類、ハダニ類、ハモグリバエ類、ハスモンヨトウ、ミカンコナカイガラムシ	原液	発生初期	散布	5回以内	6回以内		
つつじ類	アブラムシ類、ツツジグンバイ、カイガラムシ類、ケムシ類		発病初期					
ひいらぎも	うどんこ病							

くせい	ア布拉ムシ類、ヘリグロテント ウノミハムシ、カイガラムシ 類、ケムシ類	発 生 初期	発 病 初期	発 生 初期	1回 3 回 以内	4回以内(但 し、育苗期の 株元処理及び 定植時の土壤 混和は合計1 回以内、散布 及び定植後の 株元散布は合 計3回以内)	1回 3回以 内 5回以 内
まさき	アブラムシ類、アオバハゴロ モ、カイガラムシ類、ケムシ類						
樹木類(つ つじ類、ひ いらぎもく せい、まさ きを除く)	うどんこ病						
ミニトマト	アブラムシ類、ハモグリバエ 類、コナジラミ類、灰色かび病						
トマト							
なす	アブラムシ類、コナジラミ類、 ハダニ類、ハモグリバエ類、う どんこ病、灰色かび病						
きゅうり	アブラムシ類、コナジラミ類、 うどんこ病、褐斑病						

※「花月」は金のなる木のことです。

- 2020年6月10日付：花き類・観葉植物(ばら、花月を除く)の変更。花月の追加。
- 2019年5月29日付：ばらの変更。
- 2018年9月12日付：なす、きゅうりの変更。ミニトマトの追加。
- 2016年9月7日付：花き類・観葉植物(ばらを除く)、ばら、樹木類(つつじ類、ひいらぎもくせい、まさきを除く)、まさき、ひいらぎもくせい、つつじ類の変更。
- 2015年7月22日付：トマト、花き類・観葉植物(ばら、プリムラ、パンジーを除く)、ばら、パンジー、プリムラ、樹木類(つつじ類、ひいらぎもくせい、まさき、さるすべり、はなみずきを除く)、さるすべり、はなみずき、まさき、ひいらぎもくせい、つつじ類の変更。
- 2014年7月23日付：なす、トマト、花卉類・観葉植物、ばら、樹木類、つつじ類、ひいらぎもくせい、まさきの変更。パンジー、さるすべり、はなみずきの追加。
- 2013年9月11日付：樹木類(つつじ類、つばき類、ひいらぎもくせい、まさきを除く)、まさきの追加。ひいらぎもくせい、つつじ類、つばき類の変更。

- 2010年12月22日付：トマト、なす、きゅうりの追加。
- 2010年5月26日付：バーベナ、コナジラミ類他の追加。

●効果・薬害等の注意

- ①使用に当たっては容器を良く振ってください（沈殿）。
- ②ぼけには使用はさけてください（薬害）。
- ③花き類に使用する場合、花弁に薬液が飛散するとシミ等の症状が出るおそれがあるので、花にかかるないように注意してください。
- ④ツノロウムシの防除に使用する場合は、虫令が進むと効果が劣るので若令幼虫を対象にしてください。
- ⑤とうとうにはかかるないように注意してください（薬害）。
- ⑥適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。

注:上記の「とうとう」はサクランボのことです。

●安全使用上の注意

- ①体調のすぐれない時は散布しないでください。
- ②人に向かって噴射しないでください。
- ③散布時は、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用してください。
- ④本剤は、のど、鼻、皮ふなどを刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意してください。
- ⑤風向きなどを考え周辺の人家、自動車、壁、洗濯物、ペット、玩具などに散布液がかからないように注意してください。
- ⑥ミツバチ及び蚕に影響があるので注意して使用してください。
- ⑦街路、公園等で使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札を立て、散布中及び散布後（最小限その当日）に關係者以外は立ち入らせないでください。小児、人畜等に留意してください。
- ⑧使用後の空容器は3回以上洗浄してから処理してください。

保管：飲食物・食器類やペットの餌と区別し、直射日光をさけ、密閉して、小児の手の届かない低温な場所に横にしないで立てて保管。

治療法：フェンプロパトリンには、メトカルバモール製剤の投与が有効（動物実験で報告）。

薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

薬剤の使用に関する注意事項